

## 第 5 学 年 体 育 科 学 習 指 導 案

日 時 平成 2 8 年 ○ 月 ○ ○ 日 (○) 第 ○ 校 時  
 対 象 第 5 学 年 ○ 組 ○ ○ 名  
 学 校 名 ○ ○ 立 ○ ○ 小 学 校  
 場 所 校 庭 (雨 天 時 は 体 育 館)

### 1 単元名 ボール運動 ゴール型 「サッカー」

### 2 単元の目標

- 【技 能】簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防することができるようにする。
- 【態 度】運動にすすんで取り組み、ルールを守り助け合って運動したり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。
- 【思考・判断】ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。

### 3 単元の評価規準

	ア 運動への関心・意欲・態度	イ 運動についての思考・判断	ウ 運動の技能
単元の評価規準	ボール運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、すすんで取り組むとともに、ルールを守り助け合って運動をしようとしたり、運動する場や用具の安全に気を配ろうとしたりしている。	ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に合った作戦を立てたりしている。	簡易化されたゲームで攻防をするためのボール操作やボールを受けるための動きを身に付けている。
学習活動に即した評価規準	① 集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動にすすんで取り組もうとしている。 ② ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ③ 用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 ④ 運動をする場の整備をしたり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。	① ゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。 ② チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。	① ボールと自分の間に守備者が立たない位置に動くことができる。 ② 近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ③ パスを受けてシュートをすることができる。

### 4 指導観

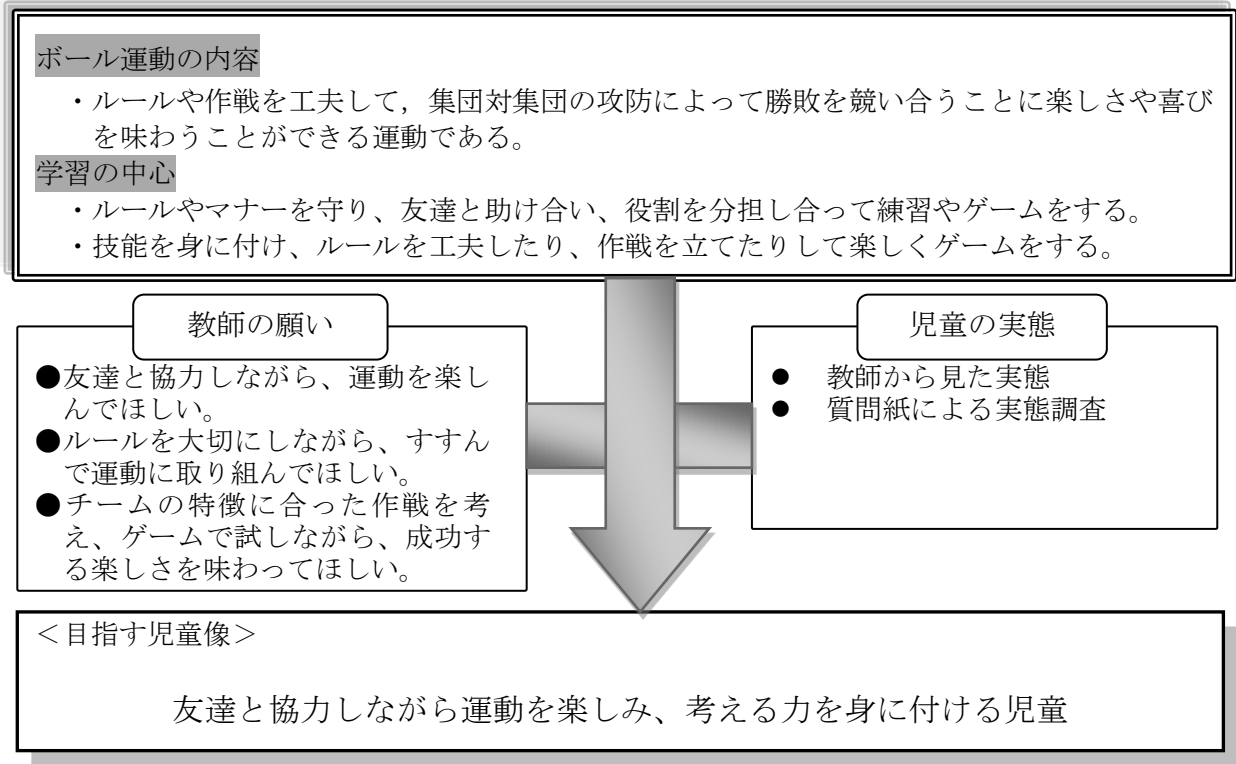
小学校学習指導要領解説体育編第3章第3節Eボール運動(1)によると、「ア ゴール型では、簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって攻防をすること。」とあり、「簡易化されたゲーム」とは、「ルールや形式が一般化されたゲームを児童の発達段階を踏まえ、プレーヤーの数、コート広さ(奥行きや横幅)、プレー上の制限(緩和)、ボールそのほかの運動用具や設備など、ゲームのルールや様式を修正し、学習課題を追求しやすいように工夫したゲームをいう。」と記されている。本単元においては、児童が互いに協力し、役割を分担して練習を行い、型に応じた技能を身に付けてゲームをしたり、ルールや学習の場を工夫したりすることが大切であるとする。

#### (1) 単元観

ア 一般的特性

- ・ 集団対集団での攻防を繰り返しながら、得点を取り合い勝敗を競うことを楽しむ運動である。
  - ・ 自分たちで作戦を考え、協力してシュートをすることが楽しい運動である。
  - ・ 自分が思う通りにボールを動かせるようになることが楽しい運動である。
- イ 児童から見た特性
- ・ 勝つことが楽しい運動である。
  - ・ シュートが決まると嬉しい運動である。
  - ・ チームの作戦がうまくいったときに喜びを感じることができる運動である。

(2) 教材観



5 年間指導計画における位置付け（ボール運動の領域）

時	1 学期	2 学期	3 学期
第 5 学年	ベースボール型 ティーボール (8 時間)	手を使ったゴール型 バスケットボール (8 時間)	足を使ったゴール型 サッカー (8 時間)
第 6 学年	ベースボール型 ティーボール (8 時間)	手を使ったゴール型 バスケットボール (8 時間)	ネット型 ソフトバレーボール (6 時間)

6 単元の指導計画と評価計画（8 時間扱い）

時	ねらい	学習内容・学習活動	評価規準 (評価方法)		
			運動への 関心・意欲・ 態度	運動について の思考・判断	運動の技能
第 1 時	みんなが楽しめるようにルールを工夫す	1 整列 挨拶 2 準備運動 体幹を鍛える運動 3 ボール慣れ	アー① 集団対集団で競い合う楽しさや	イー① ゲームの行い方を知るとともに、簡易化され	

	ることができる。	4 試しのゲーム 5 振り返り (全体) 6 試しのゲーム 7 片付け 整理運動 8 振り返り (全体) 9 整列 挨拶	喜びに触れることができるよう、ボール運動にすすんで取り組もうとしている。(観察)	たゲームを行うためのルールを選んでいる。(観察)	
第2時	ゲームの特徴を知り、攻め方を考えることができる。	1 整列 挨拶 2 準備運動 体幹を鍛える運動 3 ボール慣れ 4 ゲーム①② 5 振り返り (全体) 6 ゲーム③ 7 片付け 整理運動 8 振り返り (全体) 9 整列 挨拶		イー① ゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。(観察)	ウー③ パスを受けてシュートをすることができる。(観察)
第3時	ゲームの特徴を知り、攻め方を考えることができる。	1 整列 挨拶 2 準備運動 体幹を鍛える運動 3 ボール慣れ 4 ゲーム①② 5 振り返り (全体) 6 ゲーム③ 7 片付け 整理運動 8 振り返り (全体) 9 整列 挨拶	アー④ 運動をする場の整備をしたり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。(観察)		ウー② 近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。(観察)
第4時	ゲームの特徴を知り、攻め方を考えることができる。	1 整列 挨拶 2 準備運動 体幹を鍛える運動 3 ボール慣れ 4 ゲーム①② 5 振り返り (全体) 6 ゲーム③ 7 片付け 整理運動 8 振り返り (全体) 9 整列 挨拶	アー② ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。(観察)	イー② チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。(学習カード)	
第5時	チームの特徴を知り、作戦を立てることができる。	1 整列 挨拶 2 準備運動 体幹を鍛える運動 3 ボール慣れ 4 ゲーム①② 5 振り返り (チーム) 6 ゲーム③ 7 片付け 整理運動 8 振り返り (全体) 9 整列 挨拶		イー② チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。(学習カード)	ウー① ボールと自分の間に守備者が立たない位置に動くことができる。(観察)

第6時 (本時)	チームの特徴を知り、作戦を立てることができる。	1 整列 挨拶 2 準備運動 体幹を鍛える運動 3 ボール慣れ 4 ゲーム①② 5 振り返り (チーム) 6 ゲーム③ 7 片付け 整理運動 8 振り返り (全体) 9 整列 挨拶		イー② チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。(観察) (学習カード)	ウー① ボールと自分の間に守備者が立たない位置に動くことができる。 (観察)
第7時	チームの特徴を知り、作戦を立てることができる。	1 整列 挨拶 2 準備運動 体幹を鍛える運動 3 ボール慣れ 4 ゲーム①② 5 振り返り (チーム) 6 ゲーム③ 7 片付け 整理運動 8 振り返り (全体) 9 整列 挨拶			ウー② 近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 (観察) ウー③ パスを受けてシュートをすることができる。 (観察)
第8時	チームの特徴を知り、作戦を立てることができる。	1 整列 挨拶 2 準備運動 体幹を鍛える運動 3 ボール慣れ 4 ゲーム①② 5 振り返り (チーム) 6 ゲーム③ 7 片付け 整理運動 8 振り返り (全体) 9 整列 挨拶	アー③ 用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 (観察)	イー② チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。 (学習カード)	

## 7 指導に当たって (目指す児童像に迫るために)

### (1) 友達と協力しながら運動を楽しむために

#### ア 学習過程の工夫

2年間で24時間をゴール型の配当とする。各学年で単元を組み、ゲームの楽しさを味わうことができるようにする。また、長い時間取り組むことで技能の高まりだけでなく、思考・判断も高まると考えている。

#### イ ボール慣れ・補強運動の工夫

ゲームに必要な最低限の技能を保障するため、ボール慣れ・補強運動の時間を毎時間設定した。ボールを蹴る技能・止める技能を単元の前半で、動きながらボールを扱う技能を単元の後半で扱うことで児童の運動欲求に合ったを設定できると考えている。

(ボール慣れの例)

(ボール慣れの例とねらい)

- ・ ボールタッチ…ボールを足の裏で軽く触ることができる。  
…ボールを足の間で左右に動かすことができる。
- ・ ドリブル…ボールを軽く転がしながら、移動することができる。

(個人技能習得に向けた運動の例とねらい)

- ・ 1対1でのパス…足の内側を使って、ねらったところに正確にボールを蹴ることができる。  
…足の内側を使って、ボールを止めることができる。
- ・ シュート…ゴールをめがけて、ボールを蹴ることができる。
- ・ 移動しながらのパス…相手の動きに合わせてボールを蹴り出すことができる。  
…ボールの動きに合わせて移動し、ボールを止めることができる。

#### ウ 日常的に運動に接する機会を増やすための工夫

休み時間等を活用して児童がサッカーに親しむことができるよう、学習期間中は教室にチーム数分のボールを確保し、チームで練習ができるようにする。

#### エ 審判の指導

単元を通して、審判がどのように判定するのかを指導していく。特に見る位置を徹底し、公平に審判することができるようにする。

#### オ ルールの工夫

全員が楽しく運動に取り組み、協力しながらゲームを進めることができるよう、初めのルールは下記の通りとした。

##### 《初めのルール》

- ・ 4対4で行う。(一人は攻撃側コートのみ動くことができる。)
- ・ 1ゲームは、前後半3分ずつ(3分—1分—3分)とする。
- ・ ボールを持っている人からボールを捕ってはいけない。(守備はパスカットのみ)  
(ボールを持っている児童からは1m離れる。)
- ・ ドリブルなし
- ・ 試合は中央からキックオフでスタートする。
- ・ ボールが2本のコーンの間を通ったら2点、エンドラインをボールが越えたら1点とする。  
(ゴールの高さはコーンの高さとし、スズランテープを張る)
- ・ ゴール後は相手ボールでコート中央からキックオフで再開する。
- ・ サイドラインからボールが出たら、相手ボールのキックインで再開する。

## (2) 考える力を身に付けるために

### ア 動きの可視化

単元前半では振り返りを全体で行い、ボールを持っていないときにどこに動けばボールを受けることができるか図に表しながら理解を深めていく。コート図を用いて説明したり、実際に動いて見せたりすることでボール運動が苦手な児童もどこに動けばよいのか理解しやすくなる。単元後半では前半で扱ったボールを持たないときの動きを基に、それぞれのチームで作戦を考える。作戦もコート図に表しながら取り組むことで、自分がどこに動けばよいのか明確になるものとする。

### イ 学習カードの工夫

学習カードでは、その日のめあて(思考・判断面)に対する振り返りを記述で行う。めあてを2～4時・5～8時で固定することで、児童は前回と比べて何を考えたのかを明確にしながらカードを書くことができる。また、学習カードから児童の言葉を拾い、次の授業の初めに紹介することで、カードに書くことが苦手な児童も、どのようなことを書けばよいかを参考にしながら取り組むことができるようになる。また、技能面、態度面については、マーク式で振り返りを行う。

## 8 本時 (全8時間中の第6時間目)

### (1) 本時の目標

【技能】ボールと自分の間に守備者が立たない位置に動くことができるようにする。

【思考・判断】チームのメンバーの特徴から、自分のチームの特徴に合った作戦を立てられるようにする。

(2) 本時の展開

時間	学習内容・学習活動・めあて	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 6分	<p>1 整列、挨拶、本時の流れ・めあての確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>チームのメンバーの特徴に合った、 作戦を立てよう。</p> </div> <p>2 準備運動・体幹を鍛える運動をする</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【体幹を鍛える運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントブリッジ</li> <li>・サイドブリッジ</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れ、めあてが分かるように掲示する。</li> <li>・前時の振り返りからよい動きを整理し、作戦に生かすことができるようにする。</li> <li>・本時で使う部位を重点的に行う。</li> <li>・体幹を鍛える運動ではどの部分を鍛えているのかを意識しながら運動を行うことができるようにする</li> </ul>	
展開 29分	<p>3 ボール慣れ・補強運動をする</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【ボール慣れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールタッチ</li> <li>・ドリブル</li> </ul> <p>【個人技能習得に向けた運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動しながらのパス</li> <li>・シュート</li> </ul> </div> <p>4 ゲーム①②を行う</p> <p>5 振り返り①を行う (チーム)</p> <p>6 ゲーム③を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール操作のポイントを確認しながら動きにつなげていくことができるよう指導する。</li> <li>・足の内側を使うことを意識させ、ねらったところに正確に蹴ることができるように指導する。</li> <li>・ボールをもらえる位置に意欲的に動いている児童を称賛する。</li> <li>・チームの作戦がどうかであったかを視点に振り返りを行うよう指導する。</li> </ul>	<p>ウー① ボールと自分の間に守備者が立たない位置に動くことができる。 (観察)</p> <p>イー② チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。 (観察) (学習カード)</p>

まとめ 10分	7 用具を片付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担を行い、安全に気を付けて片付けができるようにする。</li> <li>・使った部位をほぐすようにさせる。</li> <li>・自分たちの立てた作戦がどうであったかを振り返り、次時に向けて作戦を練るよう指導する。</li> <li>・得点につながるようなよい動きを発表させる。</li> </ul>	<p>イー②</p> <p>チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。</p> <p>(観察)(学習カード)</p>
	8 整理運動をする		
	9 振り返り②をする (チーム～全体)		
	10 整列・挨拶をする		